

千住宿開宿 400 年講座

「千住宿 400 年の人と歴史」



千住宿は江戸幕府第3代将軍「徳川家光」の時代である寛永2年（1625年）に整備された宿場町です。江戸から延びる幕府直轄の主要な「五街道」の2つ、日光道中と奥州道中（街道）が通り、「江戸四宿」の中でも最大の人口があり、大いに栄えました。

千住宿 400 年の歴史を振り返りながら、そこに育った文化や医学の発展を学び、市民目線であだちの文化課題を考えてみましょう。

講師 矢内 信悟 氏 「安藤昌益と千住宿の関係を調べる会」事務局長
あだち区民大学塾 講師

開催日時 令和 7 年 5 月 毎回 木曜日 午後 2 時～4 時

回	月 日	講 義 内 容
1	5 月 8 日	千住宿の成立と発展
2	5 月 15 日	千住宿の文化と医学のお話 ～安藤昌益・佐藤元薦・森鷗外～
3	5 月 22 日	千住の文化人たち ～松尾芭蕉・平賀源内・内田銀蔵～
4	5 月 29 日	現地学習「千住宿を歩く」

3 月 月例会（お花見）報告

令和 7 年 3 月「月例会」は、3 月 31 日（月）隅田川に面した、都立尾久の原公園の枝垂れ桜のもとで開催いたしました。

都立尾久の原公園は、1993 年（平成 3 年）化学工場跡地に、鳥や虫、草花、水鳥やトンボなど水辺に棲む生きものなどの観察ができる自然を残した状態で蘇った約 6 ヘクタールが公園として整備されました。また、「下町によみがえたトンボの楽園」としても紹介されています。また、隅田川沿いや公園内に植えられている桜（枝垂れ桜）は、荒川区の木で、約 250 本植栽されていて夏には雨水池と湿地の辺りではトンボや昆虫、冬には鴨やカワセミの飛来す生息地として知られています。お花見の当日は、生憎の肌寒い花曇りとなりました。陽気が良ければご家族や親子連れなど多くの人が賑わったことでしょう。桜はまだ五分咲程度でしたが、枝垂れ桜の下で、お好みの弁当を開き、日ごろの喧騒を吹き飛ばして、美酒を酌み交わし歓談の時を過ごしました。



令和6年度 大学塾 第4ステージ 開催案内

いまさら誰にも聞けない 日本史の謎

令和7年2月15日～3月1日 毎土曜日 全3回

講師 跡部 蠢(ばん)氏

2月15日・22日・3月1日の3回にわたり、「いまさら誰にも聞けない 日本史の謎」の講座が足立区生涯学習センターで開催された。応募者は71名、受講者は67名。出席者は第1回65名、第2回53名、第3回55名で延べ受講者173名であった。講師は歴史研究家 博士(文学)江戸ぶら会会長 跡部 蠢(ばん)氏

第1回は「日本国の建国から「武士誕生」と「武士政権誕生」まで(古代から鎌倉時代)



1、日本という国名は養老令(718年)「御宇日本天皇詔」の中で日本とするとあり、それ以前は国土を大八州、国名を「大和」「扶桑」としていた。

2、貴族の誕生 貵族とは世襲的特權を与えられた人たち。上層の中央官人で「蔭位の制」=父祖のお陰で賜るという意味で自動的に決まっていた。8世紀の奈良時代の高位官人は藤原一族のほとんどが正一位である祖父(鎌足・不比等・房前)の蔭を受けていた。

3、武士の誕生 田堵、名主、年貢の誕生の背景があり『新猿楽記』に武士が説明されている。私営田領主から鎌倉幕府御家人(武士団の棟梁)へ上り、源平二大武士団の誕生となった。

第2回は「幕府政治の開始」から「乱世」の時代まで(鎌倉・室町・戦国時代)



1、武士の発展 ①下知中分と半濟。押領は、鎌倉時代から南北朝時代で制度が変わり、分割相続と惣領制と惣領制の崩壊が背景にある。

2、下剋上の成り立ち ①単独相続と応仁の乱 ②尾張の下剋上

3、サムライの誕生 ①サムライの原型は「一所懸命」に奉公してきた地頭の末裔であった。②真のサムライの誕生となると戦国時代の武士の倫理観は未熟であった。明治に入って新渡戸稻造の『Bushido, the Soul of Japan』で、日本の魂としての武士道が広まる。文治政治により儒教の影響で体系化され、独自の観念論としての武士道が確立する。

4、将軍と関白 ①将軍と公家 ②秀吉が創設した武家関白

第3回は「江戸の出版業界」から「廃藩置県」まで(江戸時代から幕末・維新)



1、江戸の出版業界と葛屋重三郎 江戸の出版業界は地本問屋で鶴屋喜右衛門、葛屋重三郎、鱗形屋孫兵衛、ほか1853年には146軒あった。

地本とは、江戸で出版された本であり洒落本、黄表紙、絵入狂歌本があり上方の硬い本とは異なっていた。

2、NHK 大河ドラマの葛屋重三郎は「南総里見八犬伝」の曲亭馬琴を手代に登用し、喜多川歌麿を育て、無名の東洲斎写楽を見出だす。大政委任と大政奉還 ①大政委任 ②尊号一件事件 ③堀田正睦と「廷臣八八卿列事件」から説明された。

3、そもそも日本は鎖国していたのか。日本が海外に長崎、対馬、鹿児島、北海道の4つの口を開いていた。1801年元オランダ通詞志筑忠雄がオランダ商館医師『日本史』の一部を訳し『鎖国論』を書いたが江戸の人たちは鎖国をしているとは思っていなかった。19世紀に外国船が来た時の断り文言として『鎖国』をつかった。

4、倒幕と討幕のちがい ①攘夷派 VS 公武合体派 ②西郷隆盛らの武力討伐 5、廃藩置県はなぜ成功したか

①天皇の権威に頼るしかなかった ②江戸時代から続く藩主の財政難であった。古代から廃藩置県までの日本史の謎を多くの資料と新たな見解を示され面白く、難しい日本史に少し近づけたような気がします。先生の最後の言葉は「日本史の奥の深さを理解してください」でした。

受講者のご意見:・講義内容が濃く、資料がとても充実しています。解かりやすい講義でした。・これまで知ることが出来なかつた歴史の裏側を見ることができ、面白く聞かせて頂きました。・講師の知識のすばらしさにびっくりしました。戦いの始まりは領土問題で相続もしかり、納得しました。

(渡辺秀子)



令和7年3月 運営委員会 報告・連絡

日 時： 令和7年3月3日（月）15:00～
場 所： 生涯学習センター：5階 研修室4

代表挨拶

皆さまご苦労様です。

この度、愛着あだちの会より、“愛着あだち便り”第3号の寄稿依頼があり、当会の紹介と会員募集“急募”的記事を寄稿致しました。本日お配りの楽学ニュースに第3号のリーフレットを差し込んでお配りいたしております。

令和6年度最終講座となる「日本史の謎」は、定員を超える応募者があり皆さんのご協力を頂き無事盛況にて終了致しました。有難うございます。次月の4月5日から始まる「日本経済入門」講座、事前準備等でお手伝い頂ける方はぜひご協力をお願いいたします。

3月25日(火曜日)恒例のお花見が荒川区の「尾久の原公園」で予定されています。皆さま御参加頂き満開の枝垂れ桜の下で楽しく歓談の時を過ごしたいと思います。

議 事

(1) 情報交換

- 八王子生涯学習コーディネーター会 設立20周年記念事業開催報告 会報受領

(2) 月例会開催について

- 2月17日（月）情報交換会
- 3月25日（火）お花見 尾久の原公園、11時 北千住マルイ前集合 バスで移動
- 4月15日（火）伊興遺跡公園下見

(3) あだち区民大学塾：講座企画会議：3/3（月）、4/1（火）検討会議：3/17（月）、4/16（水）

- 2月 今さら誰にも聞けない「日本史の謎」2/15、22、3/1（土）研1

応募者71名、受講者67名 延べ受講者173名

- 3月 講座なし

・令和6年度大学塾講座 終了10講座 受講者506名、延べ受講差1,037名、6年度一覧表配布した
大学塾累計（平成15年～22年間）延べ302講座 延べ受講者27,750名

・令和7年度前期 大学塾講座検討中、前期講座の研修室予約依頼中、会議の研修室予約済

・4月 日本経済入門 4/5、12、19（土）研1 締切日3/24

・5月 千住宿開宿400年記念講座「千住宿400年の人と歴史」

5/8、15、22、29（木）研1、現地学習 講座企画書、チラシ承認、区報原稿提出済

・6月 中世古文書 中世人の昇進・裁判 6/8、15、22（日）研1 企画書承認

(4) 各部局からの報告および提案

①学習支援部：3/17（月）5月講座「千住宿開宿400年」の交換便へチラシ封入作業

②ボランティア活動推進部：月例会予定

③事務局：ニュース発送3/3（月）、事務局部会3/12（水）2月決算、

3/24（月）6年度決算検討、ボランティア保険加入、入金、預金通帳記帳：3/10頃、4/2
4/1（火）決算報告（速報）

④広報グループ：楽学ニュース315号発行 ホームページ3/1発信、メルマガ216号発行

(5) 令和7年度総会日程、準備

4/1（火）運営委員会に6年度事業報告、7年度事業計画 各部より報告頂く、資料提出3/31まで

4/18（金）理事会、4/22（火）監査会

5/1（木）総会議案書確定、決算理事会

5/21（水）総会 15:00～ 研4

総会後 東京都へ事業報告

(6) 会員募集

・メルマガ 9月1日号以降会員急募を掲載中、ホームページに「入会のお誘い」掲載中

・足立朝日に告知した（9月5日号）

・あだちサークルフェアで勧誘、NPOフェスティバルで勧誘した → サークルフェアで2名入会頂いた

・大学塾講座で会員募集案内を実施中

(7) その他

・社会教育 3月号 回覧 事務局(WR保管)

次回運営委員会 4月1日（火）15:00から（研4）

生涯学習センター 講座情報

◎講座名：国連は権力政治を乗り越えられるのか 国連の辛未来

あだち 100 年大学講座

日 時：5/10（土）午前 10 時～11 時 30 分

定 員：30 人（対面）、10 人（オンライン）

受講料：800 円

会 場：足立区生涯学習センター研修室 1（対面）
講 師：田中 極子 氏（東洋英和女学院大学
大学院 国際協力研究科 准教授）

内 容：2025 年は国連創設 80 周年です。第二次世界大戦の戦禍を経て設立された国連は、国際の平和と安全のために何をしてきたのでしょうか？私たちは国連に何を期待すべきなのでしょうか。世界の平和と安全に向けた国連の過去と現在、そして未来を考えましょう。

◎講座名：文学散策② 太宰治の戦後

あだち 100 年大学講座

日 時：5/25（日）、6/8（日）午後 10 時～正午

定 員：30 人

受講料：950 円

会 場：足立区生涯学習センター研修室 1（5/25）
三鷹市太宰治文学サロン
(6/8、三鷹市下連雀 3-16-14)

講 師：滝口 明祥 氏（大東文化大学文学部日本文学科 准教授）太宰治文学サロン解説員

内 容：戦後の太宰治は「斜陽」や「人間失格」を書いた一方で、センセーショナルな死を遂げたことで一躍ブームを起こした。この講座では、太宰が書いた作品や文章などを辿りながら、激動の時代のなかで彼がどのようなことを考えていたのかについて迫りたい。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
インターネット[近所 de まなびナビ]で検索
イベント・講座情報→講座予約システム



荒川河川敷、春の息吹で“つくし”の芽吹

月例会のご案内（お花見）

令和7年4月「月例会」のご案内

日 時：4月 15 日（火）午前 11 時～

集合場所：竹ノ塚駅・駅前集合

場 所：伊興遺跡公園 現地視察

皆様の積極的な参加をお願いいたします。

（ボランティア活動推進部）

楽学インフォメーション

★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会
4月 1日(火) 午後 3時～4時 研修室 4
- ◎ 月例会
4月 15日(火) 午後 1時～ 遺跡公園下見
- ◎ 学習支援部
4月 16日(火) 午後 1時～ 2時 研修室 4
事務局
4月 10日(木) 1時半～ ワークルーム
広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
4月 16日(水) 午後 2時～3時 研修室 4
- ◎ 大学塾講座企画会議
4月 1日(火) 午後 2時～3時 研修室 4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
4月 14日(月)



★お問い合わせ&ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 福田哲郎 電話:090-3207-8444
E-Mail : tefukuda2002@yahoo.co.jp

編集後記

脱炭素化社会に向けて 日本における気候変動の影響

これまでのデータをもとに暴風雨・洪水・熱波などの異常気象の影響を受けた国のランキングが作成されていて日本が 4 番目にリスクの高い国として挙げられています。2024 年の日本の年平均気温および日本近海の平均海面水温は、統計開始以降最も高い値となっています。ほかにも、日本は次のような気候変動の影響を受けていると指摘されています。●雨の降る日数は減少しているものの、大雨および短時間強雨の発生頻度は増加している。●真夏日や猛暑日の日数が増加している。

●多くの地域で積雪が減少するも、内陸部では大雪が増加する可能性がある。また、気候変動が米や野菜・果物といった農作物の収穫量および品質に影響をもたらすと指摘されています。さらに、サンマなどの来遊量や来遊の時期の変化、藻場の消失、サンゴの白化など、日本の近海の海洋生態系への影響も懸念されています。

●生態系に与える影響：生態系は私たちに水や食料、安定した気候等多くの「自然の恵み」をもたらしています。

しかし、気候変動によって世界的に生態系の悪化が進んでいます。例えば、過去 50 年間における●地球上の種の絶滅は、過去 1000 万年平均の数十倍から数百倍の速度で進んでいるといわれています。●人々の健康に与える影響：気候変動は私たちの健康も脅かします。気圧の変化や気温が上昇で、熱中症になったり睡眠障害などの生理的な障害を引き起こすことがあります。

●海面上昇に与える影響：温暖化の影響で海水の熱膨張や氷河、氷床の融解による海面上昇が続いている。将来的な温度上昇次第では 2100 年までに約 0.4～0.8m 海面が上昇する可能性があり、さらにこうした海面上昇は何世紀にもわたって続く脅威といわれています。

（金子 勝治）